

HOW TO PLAN ECO EVENT

エコイベントの進め方 BOOK



環境省

財団法人 地球・人間環境フォーラム

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-18-1 虎ノ門10森ビル5F

www.gef.or.jp/reuse/

リユース食器を使って、
身近なイベントからごみを減らそう！

リユースシステム 導入大作戦!!

Do you know REUSE SYSTEM?



HOW TO PLAN ECO EVENT

地域のお祭りやバザー、野外イベントなどが終わったあと、大量のごみと悪戦苦闘したことはありませんか。なんとかごみの出ないイベントにしたい、使い終わったコップやお皿は洗って何度も使いたい、出してしまったごみは環境に良い方法でリサイクルしたい——そんな思いから全国でリユース食器を使って環境に配慮したイベントを行う人たちが増えています。

まず手始めに、使い捨ての容器をやめて、繰り返し洗って使うリユース食器を使ってみるのはいかがでしょうか。主催者の皆さんが積極的にイベントで環境対策を行うことで、参加者一人ひとりに日常生活を振り返り、循環型社会を築いていくきっかけを与えることができます。

身近なイベントから使い捨てのライフスタイルを見直してみませんか。

CONTENTS

導入準備編

リユース食器の基礎知識

- ☑ リユース食器とは何か？ P.3
- ☑ リユース食器を使うと.. P.3
- ☑ どんなイベントに使用されているの？
事例紹介 P.4
- ☑ リユース食器ネットワークの設立 P.5

実践編

P.6

4つのステップから最適なものを選択

- ☑ ① 食器準備 P.7
- ☑ ② 洗浄 P.8
- ☑ ③ 回収 P.11
- ☑ ④ 周知 P.12

付録

リユース以外にもこんな方法があります。
P.14

- ☑ マイ食器持参
- ☑ エコ容器
- ☑ 分別回収・リサイクル

リユース食器の基礎知識 [導入準備編]

◎ リユース食器とは何か？

何度も繰り返し洗って使用できる（リユースできる）食器で、使い捨ての紙コップやプラスチック容器の代わりに使います。

リユース食器には特別の規格があるわけではありませんが、何度も繰り返し使えて、落としても破片が飛び散ったり、鋭角的に割れたりしない素材が適切です。お皿やお碗などにはメラミン素材のものが、カップやスプーンなどには柔軟性に富むポリプロピレン性のものが多く使われています。



◎ リユース食器の使い方

販売



飲食物等リユース食器に入れて販売
（おかわりは、同じ容器を再使用）

返却



食後、お客さんに食器を返却してもらう

洗浄・乾燥



返却されたカップは洗って、乾燥。

◎ リユース食器を使うと..

- ➡ お祭りや野外イベントで出るごみの量を減らせます。
- ➡ 使い捨てのライフスタイルを見直すきっかけを参加者に与えます。

◎ リユース食器活用事例 in KYOTO

早くからリユースの取り組みが始まっている京都の例を見てみましょう。

幼稚園で...

京都市伏見区のあけぼの保育園の夏まつりでは、ジュースやビールを缶やペットボトルだけでなく、サーバーからリユースカップを使用し提供しています。幼稚園の積極的な取り組みは園児にも受け入れられ、「生きた環境教育」につながったと評判になっています。

地域のお祭りで...

京都市左京区の「左京区民ふれあい祭り」では、飲食・飲料すべてリユース食器を導入。11:00～15:00と短い開催時間の間に約8,000人（例年実績）もの集客があるこの祭りでは、飲食物が売れる時間は12:00～14:00に集中。その間に約1,800個ものリユース食器を洗浄しました。前年まで90Lのごみ袋で100袋以上あったごみの総量は6袋となり、リユース食器システムを導入することで大幅な廃棄物の削減につながることが立証されました。

祇園祭で...

日本三大祭りの一つとして有名な「祇園祭」の一番の山場となる山鉾巡行にて、山鉾曳き手ボランティアへの給水ポイント各所でリユースカップを導入し、お茶を提供しました。晴天に恵まれ、給水ポイントでは約1,600杯のお茶が配布されました。例年は紙コップを使用していることから、約1,600個の紙コップを削減したこととなります。曳き手ボランティアの反応も良く「紙コップよりおいしく感じる」と、好評でした。

◎ リユース食器ネットワークの紹介 <www.reuse-network.jp>

事例を紹介した京都地区以外にも、リユースの取り組みは全国各地で広がっています。北海道から沖縄まで、NPOや公共機関、大学の環境サークルなどリユースに取り組む団体が各地の拠点となり、リユース食器ネットワークが結成されました。

各拠点には「これはリユースカップです。使った後は捨てずにご返却をお願いします」というメッセージの書かれた共通カップを標準的に保有するほか、食器やお箸なども所有しています。また、リユース食器の貸し出しや環境に配慮したイベントの計画・運営のアドバイスにあたっています。

リユース食器に興味をもたれた方、リユース食器をイベントで実際に使ってみたい団体は、お近くのリユース食器ネットワーク参加団体等のサポートを受けながら、次ページから始まる実践編の手順に従って、リユース食器を使ってみましょう。（団体連絡先はP.14～15）

● リユース食器ネットワーク団体の所在地



実際に使ってみよう！

リユース食器を導入するためには、**食器の準備** ➡ **洗浄場所の確保** ➡ **回収システムの整備**、さらにそれぞれの**運営に関わるスタッフ**が必要です。リユース食器導入までの手順をどのように進めればいいのか、あなたにあった手順を紹介します。



リユースシステムを自分たちの手で運営してみたいですか？

➡ **ぜひやりたい！**

自分たちの手でなんとかリユースシステムを運営してみたいという団体は、次ページから始まる3つのステップの中で適切な方法を選択して、リユース食器を導入してみましょう。（次ページへ ➡）

➡ **難しそうなので、不安...**

自分たちの手で準備を全てするのは難しい...という団体はA SEED JAPAN（東京）や環境対策支援便RE-ECO（京都）などに相談されてみてはいかがでしょうか。食器の準備からスタッフの募集、当日の運営までトータルでコーディネートを行っています。実施費用はイベントの性質や規模によります。

A SEED JAPANはごみの排出を未然に防ぐ方法として「ディッシュ・リユース・システム」を行っています。これは、来場者に自分たちの使用したリユース食器を古布できれいに拭いてから返却してもらい、返却された食器はA SEED JAPANのスタッフが、事前に募って研修を受けたボランティアとともに洗浄、乾燥を行い再び来場者にリユース食器を貸し出す流れでオペレーションを行います。同時に、この取り組みの成果として、「使い捨てられずにリユースされた食器の数」を掲示し、来場者へ効果的なPRを行います。

➡ **リユース以外にもこんな方法があります（P.12へ）**

STEP.1 食器の準備をしよう！

購入？ レンタル？

リユース食器を導入する第一歩は食器の準備です。購入するのか、レンタルするのか、イベントの頻度と期間、費用から選択しましょう。



STEP.1

イベント開催の頻度はどれくらいですか？また期間は？

➡ **長期間or開催頻度多い** **購入**

イベント頻度が多い団体や長期間にわたって行う団体は、リユース食器を独自に製作・購入されることをお勧めします。価格は大きさ、印刷に使用する色、発注個数によっても異なりますが、1個100円以下のポリプロピレン（PP）製のリユースカップや200円程度のリユース食器が出回っています。また、リユース食器を購入した場合、衛生的に保管できる場所も必要になりますので、予算と保管場所の有無も考えながら食器を用意しましょう。

➡ **短期間or開催は一回きり（とにかく一回使ってみたい）** **レンタル**

とにかく一度リユース食器を使ってみたいという団体や、単発のイベントであったり、期間が短い団体、食器を保管する場所がないという団体は、食器をレンタルしてみましょう。P.5で紹介したリユース食器ネットワークの拠点団体のように、食器の貸し出しを行っている団体が全国各地にあります。利用料金の設定は団体によりさまざまですが、1個10円から。直接搬入・搬出ができない場合は着払いでの受け取りも可能です。また、洗浄費込みの有料レンタルを行っているところもあります。（団体連絡先はP.14～15）

Q **リユース食器はどれくらい準備すればいいの？**

当日食器を一回使いきりの場合は、予想される飲食数に見合う個数の食器を最低でも用意しなければなりません。一方、洗って使いまわす場合には、飲食ピークの時間帯に想定される飲食数の対応ができる個数の食器を最低限準備しましょう。また、使用する食器が増えれば増えるほど、洗浄・乾燥に時間がかかります。回転速度の低下により食器が足りなくなる恐れがありますので、食器は多めに準備しましょう。

STEP.2 洗浄場所を確保しよう!-1

手洗い？ 食器洗浄機？ 洗浄費込みのレンタル？

リユース食器は何度も洗って使いまわすほど、環境負荷が小さくなります。イベント会場や近くに洗浄スペースがあるかどうか、**食器洗浄機を利用するか、手洗い**か、それとも**食器洗浄車をレンタル**して会場でデモンストレーションを行うのか...イベントの規模や、会場内、周辺施設に洗浄できる場所があるのかどうかを確認しましょう。

洗浄を行うには、返却、下洗い、洗浄、ふきん・乾燥等、最低4人は必要となります。準備時や片付け時にはさらに人員が必要となりますので、十分な人員が確保できるかどうかについても確認しながら、洗浄方法を決めましょう。

また、飲食物をイベント等で販売する場合は、保健所への届出が必要です。その際、使い捨てでなくリユース食器を利用する旨を必ず書き添えてください。

基本的な洗浄手順

- ➡ ① 汚れに応じて飲める流水で下洗い(カレーなど)
- ➡ ② 食器洗浄機による洗浄、もしくは飲める流水で手洗い・お湯で殺菌
- ➡ ③ 洗浄後、清潔なふきんで水滴をふき取り、乾燥させる

※高温で洗浄すると乾燥が早い
※衛生のため、下洗い担当、ふきん担当は固定で行う
※ふきん担当は必ず石鹸で手を洗い、アルコール除菌する



データ提供=Ecotone、地球・人間環境フォーラム

➡ 1. 洗浄施設で洗浄機もしくは手洗い

イベント会場や近くに洗浄施設がある場合、食器を洗って使いまわすことが可能です。すでに衛生当局の許可を得た洗浄施設は衛生管理が万全な洗浄整備が整っているため、食器洗浄機により大量の食器を洗うことが可能です。

食器洗浄機がない場合でも、プロパンガスによる給湯設備とシンクが準備できれば、独自に手洗いで洗浄することも可能です。飲める流水で洗浄、80℃以上のお湯で5分以上殺菌し、乾燥させ、衛生的に管理しましょう(※)。



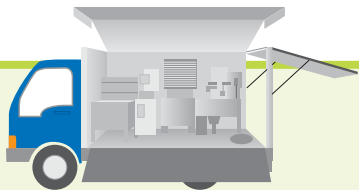
	イベントA	イベントB	イベントC	イベントD
総来場者数	7,000人	1,000人	500人	150人
日数	1日	1日	1日	1日
店舗数	11店舗	5店舗	3店舗	1店舗
用意した食器数	1,700	300	180	50
洗浄の種類	食器洗浄機	食器洗浄機	食器洗浄車	手洗い
必要人数 ※1	5人	4人	4人	5人
— 返却受付	1	1	1	1
— 下洗い	2	1	1	1
— 洗浄	0	0	0	1
— ふきん	2	2	2	2
洗浄数	3,500	576	261	25
1個/枚当たり所要時間 ※2	5分	6分	5分	8分

※厚生労働省医薬食品局食品安全部「大量調理施設衛生管理マニュアル」
www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/manual.pdf

※1 食器を洗浄するために必要な最低限の人数。準備や片付けにはこれ以上の人数が必要な場合もある。
※2 食器が返却されてから、洗浄、乾燥させて次に貸し出せる状態になるまでの時間。1分30秒で洗いあげる食器洗浄機を利用した場合、カップは3分、カレー等に使用した食器は5～6分かかる。

STEP.2 洗浄場所を確保しよう!-2

➡ 2.食器洗浄車



食器洗浄車を導入すると、洗浄施設がない会場での洗浄が可能です。食器洗浄車は食器と洗浄機を搭載した車で、洗浄車の設置にあたって水道、100V電源、プロパンガスの利用、排水設備の利用が可能であることが条件です。また、食器洗浄車を利用した場合、洗浄機の温水用プロパンガス代、走行用LPガス代、洗剤などの実費が必要になります。

イベント当日、現場で洗って使いまわすデモンストレーションを行えば、来場者への啓発効果が期待できるでしょう。

◎ 食器洗浄車レンタル代

那覇市リサイクルプラザ・アースの会「エコフレンド号」を那覇市内のイベントで使用した場合。（500人分のカレー皿、スプーン、コップをレンタル）

洗浄機の温水用プロパンガス代	520円 (330円/kg+消費税)
洗浄車の走行用のLPガス料金	192円 (走行1km当たり24円)
洗剤	380円
(500枚の皿、スプーン、コップを洗浄した場合。洗浄量によって増減あり)	
リンス代	55円
合計	1,147円

※エコフレンド号には、150人分のリユース食器、カップ、箸、スプーンなどのほか、予備洗い用流し台、湯沸し用ガスボンベ、ステンレス台、電源コード、水道ホース、排水ホースが搭載されています。

➡ 3.洗浄を行うのは難しい...

P.5で紹介した「リユース食器ネットワーク」の参加団体の中には、洗浄も含めた有料レンタルを提供している団体があります。洗浄場所もスタッフもともに確保が難しい団体は洗浄サービス込みのレンタルでリユース食器を利用してみましょう。

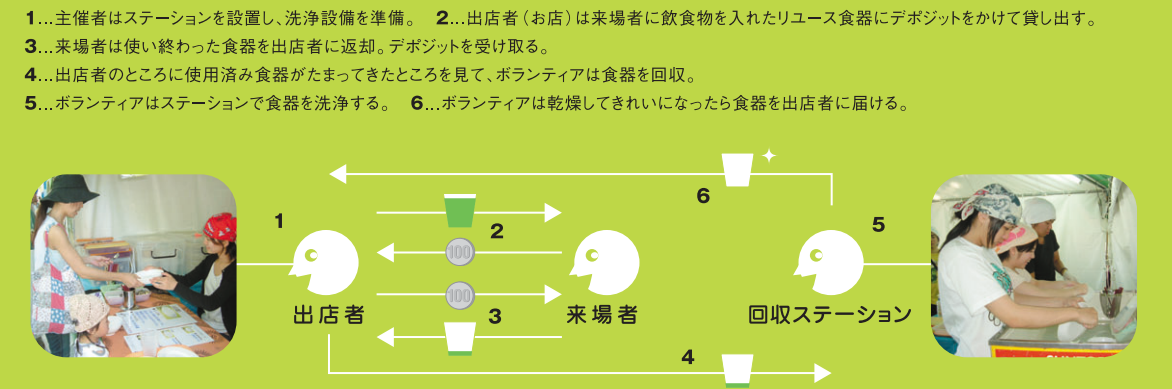
STEP.3 回収システムを整備しよう!

リユース食器は繰り返し洗って使うために、利用者に必ず返却してもらわなければいけません。利用者にとって利用・返却しやすく、提供者には貸し出し・回収・洗浄の流れがスムーズに行われるような回収システムを選びましょう。

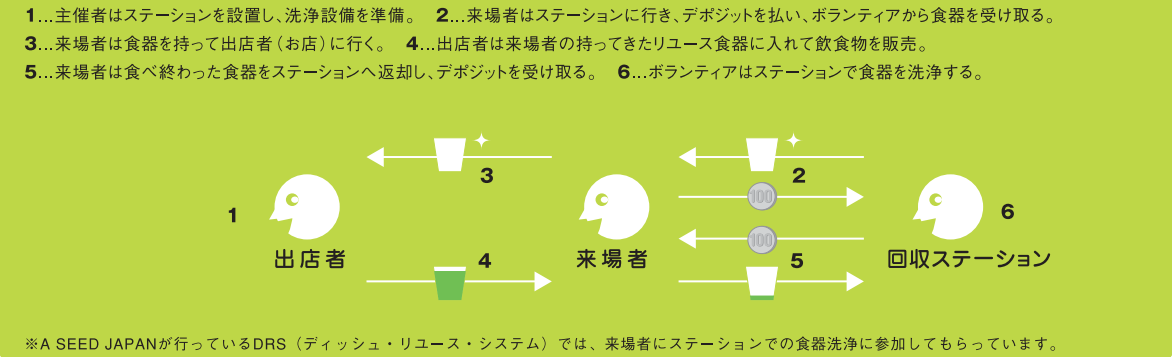
回収率を高くするには、**デポジット（預かり金上乗せ）システムを取り入れることが効果的**です。食器購入相当額をデポジットとして飲食代に上乗せして販売し、食器が戻れば預かり金を返却する方法です。食器の投棄・散乱の防止、回収できなかった場合の損失補填、循環型社会に向けた意識の啓発にも効果的です。

◎ デポジットによる回収システムの2つの例

Aタイプ_出店者が食器を貸し出し、ステーションで洗う方法



Bタイプ_食器の貸出・回収・洗浄をすべてステーションで行う方法



STEP.4 周知を徹底しよう!

出店者やボランティアスタッフなどへの事前説明はもちろん、**来場者にもリユースシステムへの協力を呼びかけることが大切です**。事前の広報でリユース食器を利用する旨を知らせたり、当日は場内放送や看板、ポスターなどでの周知が必要です。

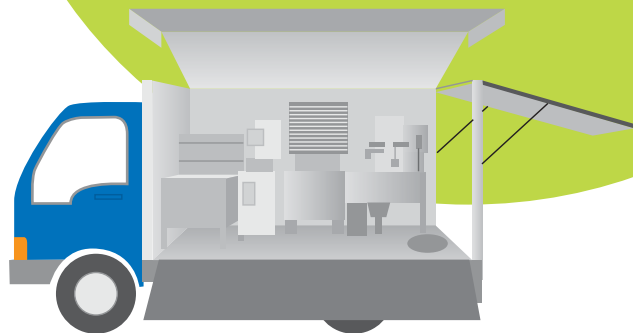
また、イベント会場で洗浄している様子がよく見えるようにすると、なぜ食器を返却するのか分かりやすく、来場者への啓発効果、返却率の向上につながります。



ポスターや横断幕で呼びかけ



リユース食器を使用しています!
回収にご協力ください!



洗浄の様子を公開する

KEEP GREEN
HOW TO PLAN ECO EVENT

KEEP GREEN
HOW TO PLAN ECO EVENT

リユース食器以外にも、こんな方法があります。

イベントで環境負荷を減らす方法はリユース食器の導入以外にもたくさんあります。リユース食器の導入と同時に他の方法を導入することで、さらに効果的な環境対策を行うことができるでしょう。

◎ マイ食器持参

来場者が自宅から食器を持参して、イベント会場で食事を楽しむ方法です。事前にイベントのポスターやお知らせなどで、お碗やお箸などの持参を呼びかけ、当日持参しなかった来場者には食器を有料で販売する方法です。「お祭りセット」と称して、茶碗、コップ、お箸、スプーン、ごみ入れなどを袋にいれて持参しようと呼びかけている団体もあります。

例:新潟県こしじ秋まつり1万人鍋

◎ エコトレイ

洗わずにリサイクルできるプラスチックのトレイや紙容器を使う方法です。トレイや紙容器の内側にあるフィルムをはがして、汚れた部分は廃棄、外側のトレイや紙容器をリサイクルするというものです。回収した容器は同じトレイの一部や、トイレトペーパーにリサイクルされます。

◎ 分別回収・リサイクル

会場で排出されるごみを徹底的に分別回収、それぞれを資源としてリサイクルする方式です。例えばペットボトルはごみ袋に、割り箸は紙や合板材の材料へ、生ごみは堆肥になります。事前に市町村などと調整し、自分たちで分別収集してから引き取りにきてもらうよう手配をしましょう。



最後に...

「もったいない」という日本語が国際的にも広まっています。どんなものでも包むことができる日本のふろしきのように、ものを大事にし、とことん使いこなすという精神が海外から注目されているのです。21世紀の人類の課題とされる循環型社会を築いていくためには、ひとりでも多くの人々がもったいない精神に裏打ちされた3R活動に取り組むことが重要です。さあ、みなさんもイベント会場からライフスタイルを見直してみませんか。



KEEP GREEN リユース食器ネットワーク
(2006年3月現在21団体)

 <食器洗浄車を持つリユース食器ネットワーク団体>
※<食器洗浄車を持つ団体>



団体名	住所	TEL	FAX	Mail	URL	洗浄車
NPO法人 環境り・ふれんず（リサイクルプラザ宮の沢）	北海道札幌市西区宮の沢一条1丁目ちえりあ1F	011-671-4153	011-671-4156	recycle-hp@sapporo530.or.jp	www.sapporo530.or.jp/araeru.htm	
仙台市環境局リサイクル推進課	宮城県仙台市青葉区一番町4-7-17小田急ビル10F	020-214-8230		kan007220@city.sendai.jp	www.gomi100.com/	
ねっとわーく福島潟	新潟県新潟市大久保34-1	025-387-2528				
環境NPO 良環	新潟県三条市元町17-13	025-632-3771		recycle@ginzado.ne.jp	www.ginzado.ne.jp/~recycle/index2.htm	
Bear's Farm	新潟県新発田市大手町3-1-23	090-1121-3820	0254-23-7240	masaro.takemae@toppan.co.jp	http://spaces.msn.com/members/bearsfarm	
エコネット上越	新潟県上越市高土町1-9-7	025-527-3616	025-522-8241	econet@mx1.avis.ne.jp	http://w1.avis.ne.jp/~econet/	
リユース・くらぶ・にいがた	新潟県新潟市坂井東6-12-40	025-260-4750	025-260-4750	tati4750@poplar.ocn.ne.jp		
てt o て倶楽部	新潟県新潟市鵜ノ子八反田819	025-382-7100	025-382-7128	n-glassrecycle@s4.dion.ne.jp	www.te2te.jp	
とよさか福祉会 社会福祉法人とよさか福祉会 精神障害者小規模作業所 ひしもの家 クローバー	新潟県豊栄東栄町1丁目1番49号	025-384-1112	025-387-4753	clover@ai.wakwak.com	park3.wakwak.com/~clover/	
NPO法人 スペースふう	山梨県南巨摩郡増穂町天神中条177	0556-22-1150	0556-22-1862	fuu@office.email.ne.jp	www.ne.jp/asahi/fuu/up/	
A S E E D J A P A N	東京都新宿区新宿5-4-23	03-5366-7484	03-3341-6030	LIVEECO@gomizero.org	www.gomizero.org/	
NPO法人 社会資源再生協議会	東京都中野区本町3-1-4	03-3375-5306	03-3372-1840			
（財）地球・人間環境フォーラム	東京都港区虎ノ門1-18-1虎ノ門10森ビル5階	03-3592-9735	03-3592-9737	info@reuse-network.jp	www.gef.or.jp/reuse/	
日産スタジアム	横浜市港北区小机町3300	045-477-5008	045-477-5002	mi01-uchiyama@yspc.or.jp	www.hamaspo.com/stadium/	
マイルポスト	愛知県瀬戸市朝日町28	0561-89-7570	0561-89-7570	milepost@ngu.jp	www.ngu.jp/milepost/	
デポネット三重	三重県四日市市山之一色町1123 ぶうる・あんふあん内	0593-33-6909	0593-33-6909	taiyo@cty-net.ne.jp		
NPO 地域環境デザイン研究所 ecotone	京都府京都市中京区東洞院通御池下る笹屋町445日宝烏丸ビル2 F-1	075-231-4356	075-231-4356	info@radiocafe.jp	www.radiocafe.jp/	
（財）千里リサイクルプラザ研究所	大阪府吹田市千里万博公園4-3	06-6877-5300	06-6876-0530	h-ohsawa@sutv.zaq.ne.jp	www.infomart.or.jp/kurukuru/index.htm	
茨木4R推進倶楽部 Re：凡（旧：茨木市環境教育ボランティア）	大阪府茨木市美穂ヶ丘19-C-406	072-626-4992	072-626-4992	bando-atuko@hcn.zaq.ne.jp		
NPO法人 タブラ ラサ	岡山県岡山市柳町1-4-8-603	086-233-6550	086-233-6550	nporasa@mac.com	www.nporasa.com/	
立命館アジア太平洋大学 環境サークル ones' 1	大分県別府市十文字原1-1 立命館アジア太平洋大学	090-1345-2488		ayumisu3@apu.ac.jp	www.apu.ac.jp/circle/ones-1/	
那覇市リサイクルプラザ アースの会	沖縄県南風原町字新川641	098-889-5396	098-835-6253	earth-family@tontonme.ne.jp	a-sunokai.hp.infoseek.co.jp/	
※（社）いしかわ環境パートナーシップ県民会議 県民エコステーション	石川県金沢市広坂2-1-1 石川県広坂庁舎2号館2階	076-232-3991	076-232-3992	info@eco-partner.net		
※名古屋市リサイクル推進センター	名古屋市中区大須4-11-15	052-251-5300	052-251-5308		www.nagoya-recycle.or.jp	